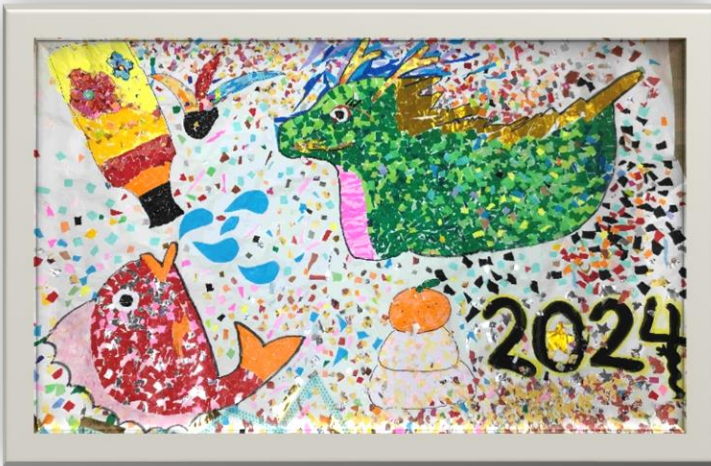


2024年 第132号
社会福祉法人 大府福祉会



ほほえみ

2024年
お正月
辰年



2024年 謹賀新年



「お正月」をテーマにした利用者さんの作品です

一、就任のあいさつ

令和五年六月二十六日の通常理事会で選任され、新しく理事長に就任いたしました。久しぶりに大府福祉会へ「ただいま」です。ただ、本業真宗大谷派寺院住職がありますから、理事長といっても会議や打ち合わせなど適時に業務するほどですが、法人の歩みを進められるように努めてまいります。

二、福祉業界の苦悩

6年ぶりに法人経営と事業運営に関わりましたが、コロナ禍やその後の社会情勢の影響を受けて、福祉業界が抱える悩みは、さらに危機的になりました。

◇人材不足

多くの業界で問題になっていますが、障がい福祉での職員不足はとても深刻です。採用に応募がわずか、採用しても離職が多い。よって丁寧な育成が出来ず支援（介護）の質が低下する、事件・事故も起こしてしまう。経営的には、皮肉にも職員不足による人件費減額により赤字が免れるという事業も少なくありません。↵

“お元気ですか” 福祉で働くみなさんへ

大府福祉会理事長 安井 孝昭

◇職員の疲弊

不足する職員体制で頑張るから身体もここちも弱ってしまう。利用者・家族、そして同僚の不安定に気づけないこともあり、たとえ気づけても手が回らない場合も。

◇地域課題を生む

これらの状況が、障がい福祉の質と量の低下になっています。例えば、手厚い（高度な）支援を必要とする障がい児者の受け手不足。多様な連携で家族ごと支えるオール福祉のネットワーク機能の低下など多く、この地域でも同様です。



この状況打開は、地域の課題として行政や社協そして関係機関の智慧と行動力で解決に向けて動きましょう。当法人としては、支援体制の再構築と体質改善、管理者を含め職員の育成、財政の安定が優先課題となります。また近隣の法人との情報共有や活動連携も更に必要になると考えます。職員をしっかりと支え、経営基盤を安定させてこそ、地域のニーズに応える事業展開に進めます。↵

三、福祉で働くみなさんへ

◇福祉の仕事に就いていただき、ありがとうございます

多くの仕事がある中で、福祉を選んでいたいただき、ありがとうございます。この仕事に就きたくて来てくれた方、入職時の想いは曇ってないですか？迷いながら来てくれた方、この仕事に働きたいは感じられますか？福祉の仕事には魅力がいっぱいです。あなたもその魅力に出会えるといいですね。そして、福祉の仕事に関心ある方がいたら「いい仕事だよ」と伝えられるあなたでいてください。

福祉業界でも離職が多い状況で、当法人も同様です。他の分野へ挑戦する方は応援します。どうしても合わない方は転職を勧めることも。けれど、「この仕事が好きで、働き続けたいのに辞めていく」「頑張りすぎて、不安が多すぎて、ここが病んでしまう」という場合は法人・事業所に非があります。人材不足以外にも、その職場に「何か」が欠けているのでしょうか。その何かを解決しないと「就いていただきありがとう」に答えられません。↵

支援を待っている方がいるのだから、疲弊している職員が倒れてしまうから、福祉を取り巻く諸問題を「時代のせい」にして見過ごすことはできません。

◇私たちの元気が、

福祉の希望につながる

コロナ禍で縮小されていた事業が動き出しました。地域のまつりや施設主体の交流イベントなどで多くの市民と関わります。また施設実習や体験で学生たちが訪れます。職員のみなさん、笑顔で接していますか。職員が楽しく元気に働いていないと、この仕事の魅力が伝わりません。人材不足解消の切り札は、あなたの笑顔です。

◇ここに余裕を持つ

『感性』を磨きましよう。感性とは、相手の気持ちを感じ、それに表現・行動する力です。利用者さんご家族と接する私たちには《必須と言いたい力》ですが、同僚や後輩職員の些細なSOSに対応するにも感性が欠けていると手遅れになります。

では、その感性をどのように磨きましようか？ まずは、ここに余裕を持つことです。✓

職員が働きがいを感じて元気に働ける職場環境を整えるのは、法人・事業所だから、その中心にいる管理者とリーダーは、問題を先送りせず、実直に動きましよう。



四、社会福祉法人としての責務

◇そして、地域への貢献に取り組み

多くの法人・事業所もそうでしょうが、当法人も設立当初より多くの方々に支えられてきました。遅れましたが、地域に恩返しをします。大府市や市社協、地域から市民の困りごとを聞き取り、時には協力をいただきながら、私たちの強みを活かして行動します。

私は以前のように法人を引っ張るのではなく、管理者を激励し、職員を見守っていく立場で務めさせていただきます。新米理事長を、どうぞよろしくお願ひします。

安井理事長のことを、もっと知りたい！

安井理事長のことをよく知らない方のために、いくつか質問に答えていただきました。



Q 好きな言葉は何ですか？

日野原重明氏のことば

「生かされている最後の瞬間まで、人は誰でも人生の現役です」

理由…人生の後輩たちに「年齢を重ねると失うこともあるけれど、良いこともあるんだよ、新しい感動もあるんだよ」と、体現して伝えたい。もちろん、ひと月いち年と続いていく自身の人生を活かすためでもあります。

Q 趣味は何ですか？

まち歩き…お薦めは京都。路地裏のお店で、若手作家の素敵な作品は何でも出会うとワクワクします。

好きな時期は新緑の頃、青もみじの庭園を訪れます。

キャンプ…昨年の秋はクマには勝てないと我慢しましたが、次は春先。花粉症には負けないぞと出かけます。

演劇・映画鑑賞…劇場や名画座が閉じていつて残念です。

少年時代から欠かさず観ているのは「ジョシラ」です(笑) 追いかける夢をよく見ました。怖かった！

Q 好きな音楽家は誰ですか？



サザンオールスターズ、というか桑田さん。学生時代から同じ時代を生きてきた、才能あふれる憧れの(勝手に思っています)が同志です。そして、Mr. Children。桜井さんの詩が好きです。「GIFT」とか「終わりのなき旅」とか、いっぱい。

Q 戻れるとしたら？

人生は一度でいいけれど、如果说えれば大学時代に戻り、私にはかなり高いハードルですが、障がい者の人権を護る法律家になるために学び直したい。

今年度も行事を開催しました！！

コロナ禍を経て、昨年度3年ぶりに開催された「大府市福祉・健康フェア、東あけび苑・たくとフェスタ」ですが、今年度も無事に開催することができました。また大府市福祉・健康フェアはあけび苑としては4年ぶりの本格参加、みのり・「そら」は初参加でした。簡単にですが、当日の様子・感想等をお伝えします。

大府市福祉・健康フェア9/24(日)

あけび苑

一言でいうと、今年度の福祉健康フェアは大盛況に終わりました！ゲームコーナーは列が途絶えず、販売コーナーでは「いらっしゃいませ」「いかがですかー」と売り子をするあけび苑の利用者の声が響き、スタンプラリーはもちろん、同場所でおこなった施設企画にも多くの方が参加してくれました！成功の裏には準備をしてくれた職員や当日自分の仕事に徹してくれた施設利用者、障がいを持つ方と交流機会が少ないにも関わらず臨機応変な対応してくれたボランティアのみなさん、当日足を運んでくれたお客さんなどたくさんの人の協力があったからだと思います。今回のテーマの「39(サンキュー=感謝)が飛び交う素敵な時間」になぞらえ、多くの方に感謝を改めて伝えたいです！来年度の福祉健康フェアも良いものにしましょう！！
「ありがとうございました！」

大府市発達支援センターみのり

初めての福祉健康フェア、私たちは子ども向けの魚釣りブースで出店しました。発達支援センターみのりとしての宣伝は限られていた中でしたが、驚くことに私たちの予想を遥かに超えた、数多くのお客さんが足を運んでくれました。たくさんのお客さんの笑顔と楽しさが溢れ、コミュニケーションの場となりました。

今回の福祉健康フェアを通して地域の方々と直接交流できる場は、私たちを知ってもらう上で貴重な機会だと思いました。今後も、イベントへの参加や様々な方法での地域へのアピールを通じて、発達支援センターみのりの活動を広く知ってもらうよう努めていきたいです。

地域生活支援センター「そら」

今年度から、福祉健康フェアに「そら」も参加させていただきました。ひだまりの施設を会場にして、ポッチャの体験ができるコーナーを設置しました。また、「ふくしの仕事」や「障がい特性」についてのパネルを掲示し、たくと大府で実際に使用している自立課題を置くなど、地域の方が福祉を学び、障がいに関心を持てる場を作りました。自立課題の体験コーナーでは、集中して行ってくれ、「できた！」と喜んでくれた子どもがたくさんいました。また、ポッチャを通じて、障がい者スポーツの面白さや魅力を体験していただくことができました。

今回の福祉健康フェアで、多くの来場者の方々に福祉の魅力や面白さをお伝えできたのではないかと思います。来年度以降も、少しでも地域福祉の発展に貢献できればと思っています。



ジュースも売りました



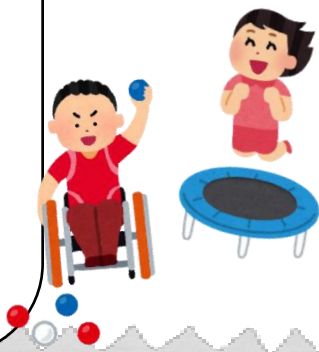
参加者のみなさんに
想いを書いてもらいました



たくさんのお魚を
準備して釣りあげ
てもらいました



展示コーナーの様子



東あけび苑フェスタ11/5(日)

東あけび苑フェスタも昨年度に引き続き無事に開催でき、職員を始め、利用者と一緒に盛り上げることができました。事前準備では昨年行ったこともあり、みなさん手際よく、ワクワク、ドキドキしながら看板作りや飾り付け、組み立てをしました。予報は当初雨予報でしたが、フェスタ当日を迎えると空は快晴！晴れやかな気持ちでお客様を迎えることができました。東あけび苑フェスタではステージ、模擬店、こども広場の3つのブースをメインにお客様に楽しんでもらいました。利用者も模擬店で楽しそうに声を出してお客さんをお呼んでいたり、ステージと一緒に盛り上げたり、笑顔で過ごしていました。ビンゴ大会、お菓子まきも盛り上がり、子ども達たちがお菓子を楽しそうに拾っている姿が見ることができ、模擬店・飲食ブースでは揚げたてホカホカのクロックをはじめ、今回からフランクフルトも販売し、購入してくれたみなさんは、美味しそうに食べていました！こども広場では地域の子どもたちが集まり、ストラックアウトを楽しみました。

地域の方々に、楽しんでもらえて良かったです。また、来年度以降も地域との交流を意識し、地域を巻き込んで盛り上がるイベントを企画していきたいと思います！！

たくと大府フェスタ11/5(日)

利用者のみなさんと職員が楽しみにしている「たくと大府フェスタ」が今年度も無事に開催されました。天気予報では、雨予報でしたが当日はなんと快晴。みなさんの想いが届いて絶好のフェスタ日になりました。10時の開場時には、お客さんがまばらで心配になりましたが、お昼ごろには、たくさんのお客さんが訪れてくれました。電球ソーダ、射的、たくと大府名物の巨大トランポリン、謎解きラリー、ソフトクリームなど楽しい催しを用意しましたが、どれも大盛況でたくさんの家族連れや子どもたちが楽しむ様子が見られました。利用者のみなさんは、店番をして、お客さんのおもてなしをおこなってくれました。利用者職員だけでなくご家族やボランティアのみなさんのご協力のおかげで「たくと大府フェスタ」は大成功で終わることができました。

事業所を開放することによって、地域の方々に、たくと大府や利用者さんを知ってもらう良い機会になっています。これからもフェスタに多くの方々が来ていただけるような取り組みをしていきたいです。



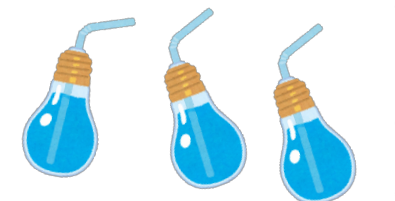
クロック
爆売れでした♡



ストラックアウト



たくと一同、
一致団結して
がんばりました！

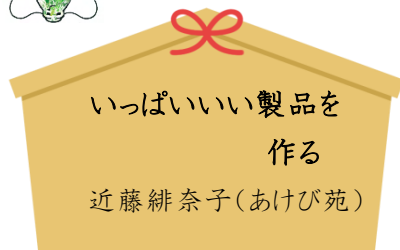


たくと名物
自立課題！

今年は辰年

～年男・年女の代表の方に伺います～

「今年の抱負や楽しみにしていることは何ですか？」



いっぱいいい製品を
作る

近藤 緋奈子(あけび苑)

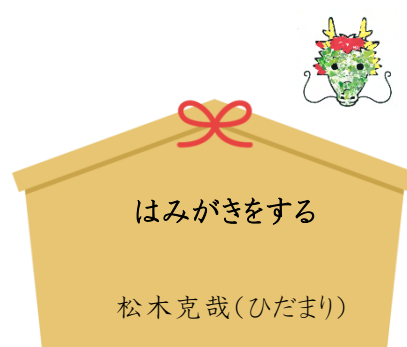
急ぎの仕事も得意です！



箱根駅伝を観る

田嶋 晃多(あけび苑)

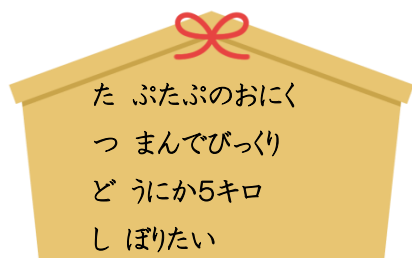
出場校もしっかり覚えてます。



はみがきをする

松木 克哉(ひだまり)

毎日の事って一番むずかしいですね。

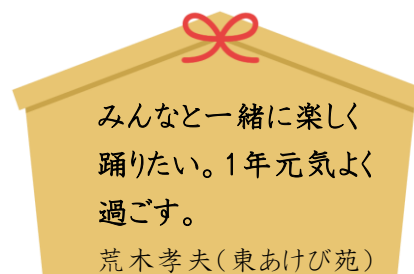


たふたふのおにく
つまんでびっくり
どうにか5キロ
しぼりたい

竹村 亮祐(たくと大府)保護者より
風呂上りに腹筋してるけど、チョコパイ
には目がないのだとか。



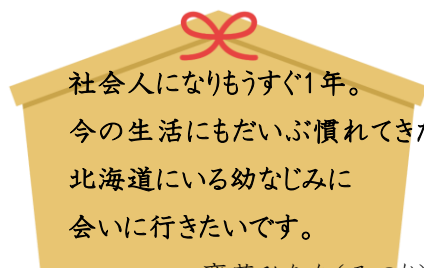
令和六年



みんなと一緒に楽しく
踊りたい。1年元氣よく
過ごす。

荒木 孝夫(東あけび苑)

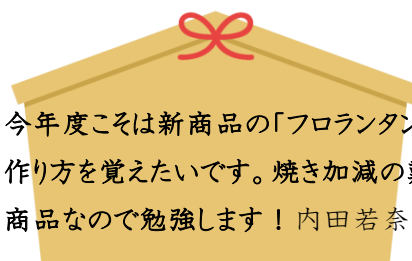
音楽聞くのが大好き。特に「命くれない」
「My Revolution」がお気に入り♪



社会人になりもうすぐ1年。
今の生活にもだいに慣れてきたので
北海道にいる幼なじみに
会いに行きたいです。

齊藤 ひなた(みのり)

会えるって幸せ！

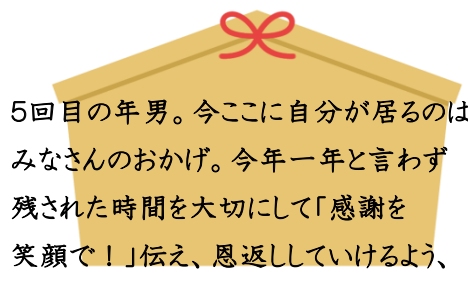


今年度こそは新商品の「フロランタン」の
作り方を覚えたいです。焼き加減の難しい
商品なので勉強します！内田 若奈(あけびの実)



アーモンドたっぷりのフランスの伝統菓子

「あけびの実」限定商品です



5回目の年男。今ここに自分が居るのは
みなさんのおかげ。今年一年と言わず
残された時間を大切にして「感謝を
笑顔で！」伝え、恩返ししていけるよう、
健康第一で過ごしたい。加藤 剛(「そら」)

笑顔・感謝・健康は最強ですね

願いのかなう

良い年になりますように

辰年 あの日



- | | |
|-------|--------------------------|
| 1964年 | 東京オリンピック開催
「東海道新幹線」開通 |
| 1976年 | およげ！たいやきくん 453万枚の大ヒット |
| 1988年 | 青函トンネル、東京ドーム、瀬戸大橋竣工 |
| 2000年 | BSデジタル放送の開始
2000円札の発行 |
| 2012年 | 東京スカイツリーの開業 |

地域の中で 「地域の防災訓練に参加して」 ひまわり・よしかわ・くすのきホーム



地域の事業所として、地域とどのような関わりがあるのか 今回は誰にとっても関心の高い「防災について」地域の皆さんと一緒に考え、参加する機会をいただきましたので、報告をいたします。

【参加のいきさつ】大府市の社会福祉協議会を通して、地域の防災訓練にぜひ参加させてもらいたいとお願いをしたところ、グループホーム利用者と地域の防災訓練に参加させてもらうことになりました。

【横根山自治区防災訓練】11月19日にひまわりホームの利用者2名と横根山自治区防災訓練に参加しました。東海豪雨や東日本大震災時の写真パネルを熱心に見たり、AEDの体験を積極的行ったり、災害に関するビデオ映像や紙芝居、元自衛官の方の体験談など熱心に聞いたり普段とは違った利用者の様子を見ることができました。炊き出しの五目御飯と参加賞をたくさんいただき、またいろいろな方が声をかけてくれたので利用者もうれしそうでした。



【長草地区地域総ぐるみ防災訓練】11月25日によしかわ・くすのきホームの利用者3名と長草地区地域総ぐるみ防災訓練に参加しました。そこではグループホームで暮らす知的障がい者と職員が避難所である大府西中の体育館に避難してきたという想定の実演を行いました。グラウンドから体育館に避難して、段ボールで仕切られた避難スペースで待機するといった流れで行われました。職員としても一般の避難所に利用者と避難をするといった訓練は初めてだったので、知らない場所、知らない人ばかりの中、段ボールで仕切られているとはいえ、立てば周りから見られてしまうプライバシーが保たれない状況で何日も過ごすことができるだろうか・・・そんな不安がある一方で、そのような状況になった時のことを考えて今から何ができるか、どんな準備が必要かを考えさせられる機会となりました。利用者は初めての体験で緊張と戸惑いを見せながらも、誘導係の指示に従って移動したり、じっと待機したりと真剣な表情で取り組んでいました。

【今後について】大府福祉会では昨年度に作成したBCPをより実践的な内容に改善しようと現在取り組んでいるところです。法人内の事業所が連携を取ることはもちろんのこと、地域との連携を強化していくことは大きな課題となっています。このような防災訓練を通して地域の方との関係を深めていき、今後は施設やホームの避難訓練にも地域の方々にも参加してもらえる機会が増やせるよう働きかけていきたいと思っています。



〈事業所としての備え〉

記：地域生活支援センター「そら」小島康明



あけび苑の自主防災倉庫と備蓄非常食

法人事業所では事業所内にそれぞれ防災備品を備えており、あけび苑、東あけび苑、ひだまり、たくと大府は大府市の「福祉避難所」に指定されています。またあけび苑、たくと大府については「自主防災倉庫」を敷地内に設置し、災害時に必要な水や非常食をはじめとした物品を備えています。

寄付者・募金箱設置協力者 2023 年

(2022 年 12 月 1 日 ~ 2023 年 11 月 30 日)

ありがとうございました。



Attract 奥山 池田直博 卯っ娘 エコパーク 大府歯科医院
大府市更生保護女性会 おはようくん 菓蔵 柏木産業(株) KABIRA
Café de Point (株)豊田自動織機 神田地区民生児童委員協議会 吉左右
木村次雄 久鐵 串泉 軽食・喫茶ぴおね 子育て支援サークルあそびのいっぽ
伍島園 近藤産興(株) サンおおぶ 秀文堂 秀味家 松葉 スポーツキューブ共栄
住友重機械労働組合連合会名古屋地方本部 全日本不動産協会愛知県本部中央支部
だるま酒場 近崎ふれあい会館 デンソーグループはあとふる基金 峠のお店
豊田自動織機労働組合 ナイル ばーばら 柊みみはなのどクリニック
ピオ・トープ ひだまり家族会 ファミリーステーキ「がぶっとごっくん」 美容室アール
ふじ寿司 藤本房子 豚そばぎんや ブックセンター名豊 ヘルメス
まるはち まるはちラーメン 麺の坊晴レル屋 麺やOK 焼肉大豊
ヤマト商店 吉田憲子 楽喜 リッチ美容室 レクサス東海 ロダン美容室
ろばた夢弥もん吉 KeePer 技研(株) その他匿名の皆様 (敬称略・順不同)



機関紙

ほほえみ

2024年 新春号

発行：社会福祉法人 大府福祉会 編集：地域広報部会
〒474-0011 大府市横根町名高山 78 番地 2
TEL：0562-85-5228 FAX：0562-85-5229
URL：<http://www.obufukushikai.com>
↑ ホームページで、カラー版「ほほえみ」もぜひ！
Email：obufukushikai1985@aroma.ocn.ne.jp



←
Facebook
やっています！

